

シリコーンゴム形成エマルジョン

ASAHI MRX-2269

アサヒシリコーン MRX-2269 は、新しいタイプのシリコーンエラストマーのエマルジョンです。水を蒸発させるだけで、強靱なシリコーン皮膜を形成するところから耐久性のある離型剤、平滑剤としての性能を有し、また、増粘させて水性コーティング剤として使用でき、繊維用コーティング剤、無機物のバインダーとしても有用です。

□ 特 長

- 1 微細な粒子よりなるエマルジョンで保存安定性・希釈安定性に優れています
- 2 室温でも水を蒸発させるだけでシリコーン皮膜を形成します
- 3 形成されたゴム状皮膜は、透明性を有し耐候性・耐熱性・耐水性等、シリコーンゴムの特徴をそのまま保持しています
- 4 アクリル系の増粘剤で容易に、又任意の粘度にも増粘できコーティング加工が可能です

□ 一般特性

外 観	乳白色エマルジョン
粘 度	2～10cp (25℃)
pH	9～10
イオン性	アニオン
希釈剤	水
最低造膜温度	0℃ (水分蒸発可能温度)
不揮発分	18%以上

出荷規格では、ありません



皮膜の物性 室温 25°Cで形成した皮膜の物性は、下記の通りです (0.8mm厚シートで測定)

測定項目	測定結果
外観	半透明柔軟ゴム
引張強度	10 kg f/cm
伸び率	650%
引張応力(100%)	3 kg f/cm
(300%)	6 kg f/cm
硬さ	15

【被膜耐水、耐溶剤性】

資料 30 x 30 mm 暑さ 0.8 mmシート

浸漬条件 25°Cx24Hrs

溶 剤	面積膨張率 (%)
水	0
ガソリン	195
ベンゼン	144
パークレン	114

【被膜の耐薬品性】

浸漬条件 25°Cx48Hrs

塩酸 (5%)	変化なし
(20%)	やや硬化
苛性ソーダ (5%)	変化なし
(20%)	やや白化

□ 用 途

- 1 エマルジョン樹脂の性能向上として
 アクリル樹脂のタック防止
 外壁用塗装の耐候性向上、ひび割れ防止
- 2 繊維処理剤として
 水性アクリル樹脂・ウレタン樹脂コーティング剤の併用による樹脂被膜の柔軟性向上
 防寒衣の暴風コーティング。羽毛布団の目詰め加工
- 3 バインダーとして
 ガラス・アラミド繊維などのバインダー
- 4 機能性用途として
 プラスチックコーティング剤、貼紙防止コーティング剤など

□ 使用方法

- ・一般には、エマルジョンを水で適当な濃度に希釈し、浸漬、又はスプレーにより
 基材に塗布してください
 - ・コーティング剤として使用の際は、予めアクリル系の増粘剤で適当な粘度に増粘して
 ご使用ください
- コーティング方法は、ナイフコーティング、ローラーコーティングが適しています

ASAHSILICONE

ASAHI DYESTUFF MFG.,LTD

□ 増粘加工

増粘剤としてアクリル系増粘剤 プライマルTT-615（ローム&ハース社）を用いた場合の標準使用量は、次の通りです

MRX-2269	99.0 部	98.5 部
TT-615	1.0 部	1.5 部
粘 度 (cp)	1000-2000	8000-10000

応用例

繊維コーティング剤としての使用—水溶性ウレタン樹脂との併用—

Asahi Silicone MRX-2269 は、水溶性ポリウレタン樹脂と併用し繊維にコーティング することにより伸長性に富んだ皮膜を形成させることができます
ウレタン樹脂として、スーパーフレックス 300（第一工業製薬社製）を用いた例を次に示します

MRX-2269	70.0 部
スーパーフレックス 300	20.0 部
水	8.5 部
TT-615	1.5 部

□ 注意事項

アルカリ性で安定に保つように調整されておりますので、酸の混入により、エマルジョンが不安定になる傾向があります

乾燥すると、直ちに固まりますので、使用後の容器は、乾燥することなく直ちに洗浄してください

使用時以外は、必ず密栓をして乾燥を防いでください

□ 荷 姿 18 k g 石油缶



旭染料製造株式会社

〒532-0035 大阪市淀川区三津屋南 3-12-17

TEL 06-6301-4936 FAX 06-6304-3544

E-mail asathio@chem-asahi.co.jp